

令和6年竹田市教育委員会第9回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年9月5日（木）午後2時25分から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	吉野 聖子
2 番委員	岡 茂樹
3 番委員（教育長職務代理者）	甲高 幸一
4 番委員	進 みづほ
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	羽田野京子
学校教育課長	渡邊 幸美
生涯学習課長	藤島 勲
まちづくり文化財課長補佐	真田 博幸
竹田中央学校給食共同調理場長	甲斐 正寿
歴史文化館長	佐藤 晃洋
事務局員	教育総務課課長補佐 古澤 邦利
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第8回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項

議題第17号	令和6年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書について
議題第18号	竹田市立小中学校保護者・学校・教育委員会連絡システム実施運用基準の制定について
 - (4) 報告事項

報告第5号	令和6年度竹田市教育関係功労者表彰候補者について
-------	--------------------------
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項

幼稚園・小学校の運動会について
竹田市教育長・教育委員学校訪問について
 - (7) 連絡事項

(1) 9月幼・小・中行事予定表
(2) 9月教育委員会関係日程（予定）表
(3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員会からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 2 時 25 分〕

羽田野教育総務課長	委員の出席状況でございます。教育長及び委員 4 名出席、傍聴者は 3 名です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	それでは、ただいまから第 9 回定例会を開会します。第 8 回定例会の会議録は、すでにお配りしていますが、質疑、修正等ありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
羽田野教育総務課長	前回の教育委員会第 8 回定例会以降、教育長が出席しました会議・諸行事等について報告いたします。8 月 5 日、中野市学校新聞特派員事業受入歓迎会。6 日、教育講演会。7 日、声楽コンクール諮問委員会。16 日、第 1 回竹田市表彰委員会。19 日、校長・所長会議、及び中学校英語教育授業力向上研修。20 日、竹田市人権を守る市民の集い、及びバレーボール、女子軟式野球全国大会出場報告。21 日、第 1 回竹田市地方創生推進会議、及び県民スポーツ大会竹田市選手団結団式・監督会議。22 日から 23 日にかけて大分県市町村教育長協議会総会。26 日、2 学期始業式。27 日、定例課長会議、及びサフラン始業式。28 日、J A おおいたピーマン生産部会からの学校給食用ピーマン贈呈式、及び教育推進大綱協議。9 月 2 日、給食費に関する協議。3 日、議会第 3 回定例会の開会。そして、本日 5 日、第 1 回総合教育会議、及び教育委員会第 9 回定例会。以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等ありませんか。 甲高委員。
甲高委員	昨日の夜、会議がありまして、その中で保護者の方と話をすることがありました。給食費に関することを保護者の方と話しましたので、9 月 2 日の給食費に関する協議について、内容を少し教えていただければありがたいです。
志賀教育長	学校給食調理場長。
甲斐給食調理場長	はい。給食調理場ですが、9 月 2 日の給食費に関する協議ですが、市長、副市長、教育長を入れて協議を行っています。これにつきましては、令和 7 年度改定のこと、今後、教育委員の皆様にもご相談申し上げないといけないことがあります。今のところ賄材料費が、ここ 2 年ぐらい増大しておりまして、今の給食費では足りない状況が続いております。今年度も足りない状況で一般財源の持ち出しをしないと厳しい状況です。来年度以降も、そのような状況が考えられますので、教職員、市職員、わかば公社の分だけでも、賄材料費相当分をいただけないものかと検討している状況です。児童、生徒については、今の物

	<p>価上昇、賃金等の生活状況を考慮して難しいと思われますので現状の状況で検討しているところです。しっかりと考えがまとまれば、委員の皆様にお諮りしたいと考えていますのでよろしくお願いします。</p>
志賀教育長	<p>よろしいでしょうか。</p>
甲高委員	<p>そういう状況を保護者の方に話をさせてもらいました。その家庭は3名のお子さんがいるということで給食費がかなり負担になるというような話を、笑いながら、冗談を交えながら話しました。100円上がっただけでも、やはり負担はすごく大きいというようなこともおっしゃっていました。それで、今日は質問させてもらいました。また、決まりましたらよろしくお願いします。</p>
志賀教育長	<p>結論から言いますと、教職員は、賄材料費として上げざるをえない状況ですが、児童生徒については、据え置きです。付け加えて言うと、無償化している幾つかの市町を除いて、竹田市の給食費は最安値です。一番高いところと比べると小学校の場合、3,000円近く安いということになっています。ですから、とてもよい竹田市です。PRをしていこうと思っています。無償化については、国がやるべきだと思っています。困窮家庭については、全額免除しています。なんとか、頑張っていきたいと思っています。その他ないでしょうか。</p>
委員	<p>(「はい。」の声)</p>
志賀教育長	<p>それでは次に移ります。本日の審議案件は2件です。初めに、議第17号「令和6年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書について」です。教育総務課長、説明をお願いします。</p>
羽田野教育総務課長	<p>議題第17号、令和6年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書についてでございます。前回、報告書(案)をお配りしておりましたが、その後、外部評価委員の先生からの指摘を受け、文章表現等かなりの書き換えが生じてしまいました。また、岡委員からも気づいた点ということで3点ほどいただき、重複する部分でしたので、併せて訂正しております。お忙しい中、大量の訂正の確認が必要となり申し訳ありませんでした。</p> <p>追加原稿としまして、終わりの方のページ、67ページから81ページにかけて、外部評価委員をお願いしている大分大学名誉教授の山崎清男先生と、竹田市の元小学校長である畑山誠二先生、お二方からいただいた外部評価のご意見を新たに掲載しております。加えまして最終ページ・82ページに、「おわりに」ということで教育委員会としてまとめた文章を追記し、今回改めて最終案という形で、委員の皆様にお示しをしております。本日、何かお気づきの点などございましたら、おっしゃっていただきたいと思います。特に疑義等がなければ、この案をもって、報告書の完成とさせていただきたいと考えております。</p> <p>なお、この後のスケジュールとしましては、ただいま議会9月定例会が開会中でございますので、市議会へも配付をし、10月には市のホームページに掲載をしまして、一般への公開・公表をする予定にしております。以上です。</p>
志賀教育長	<p>かなりのボリュームありますが、あらかじめご意見を伺って、修正できるとこ</p>

	<p>はしていくということです。本日、新たにご意見を伺うということですが、質疑等はありませんか。</p>
委員	<p>（「はい。」の声）</p>
志賀教育長	<p>ないようですので、議題第 17 号、承認してよろしいですか。 承認されました。今後またお気づきの点があれば、ご指摘いただきたいと思います。 次に議題第 18 号「竹田市立小中学校保護者・学校・教育委員会連絡システム実施運用基準の制定について」です。学校教育課長、お願いします。</p>
渡邊学校教育課長	<p>議題第 18 号、竹田市立小中学校保護者・学校・教育委員会連絡システム実施運用基準の制定についてです。現在使用している連絡システムから変更するために、今回、この実施運用基準を次のように定めます。現在使っているものに関しては、保護者の方から、受け取った側からの回答等ができませんが、新しいものに関しては、アンケート等の保護者様の回答だったり、遅刻早退、出欠席については、保護者様の方から連絡が出来るというような新しいシステムになっています。制定の提案理由として、この基準は教育委員会から、竹田市立小中学校への指示及び連絡、学校から保護者等への連絡、保護者から学校への連絡を電子メールで配信することにより、児童生徒の安全の確保及び円滑な学校教育活動の推進及び教職員の負担軽減を図るため制定するものであります。以上です。</p>
志賀教育長	<p>ただいまの説明に質疑等はありませんか。ないようでしたら、議題第 18 号を承認してよろしいですか。</p>
委員	<p>（「はい。」の声）</p>
志賀教育長	<p>承認されました。次に移ります。 報告事項は 1 件です。報告第 5 号「令和 6 年度竹田市教育関係功労者表彰候補者について」です。教育総務課長、説明をお願いします。</p>
羽田野教育総務課長	<p>報告第 5 号、令和 6 年度竹田市教育関係功労者表彰候補者について報告をいたします。 A 4 横書きの資料、教育関係功労者表彰具申者一覧表をご覧ください。この表に記載のとおり、今回、4 名の皆様方と 1 つの団体を推薦・具申しております。表左端の区分にあります 1 条 3 号というのは、竹田市教育関係功労者表彰規則の第 1 条第 3 号のことで、この条項にある「社会教育の振興について功績が顕著なもの」に該当するということで、教育委員会が表彰するという規則の定めを根拠としております。また、団体については感謝状の対象となります。 個人表彰の 4 名はいずれも生涯学習課から社会教育振興推薦です。一番上の大塚孝二さんと 3 番目の工藤寛治さんは、いずれも 17 年以上の永きにわたって、竹田スポーツ・レクリエーションクラブの小学生を対象としたタグラグビーの指導を通して青少年の健全育成、競技の普及に貢献をいただいています。併せて、県民スポーツ大会に現在も選手として参加し、市のスポーツ振興に寄与いただいております。河室健士さんは、35 年の永きにわたって、竹田市ゴルフ協</p>

	<p>会会長を務め、17 年以上の永きにわたって、竹田スポーツ・レクリエーションクラブのゴルフクラブで後進の指導にご尽力いただいております。堀慎司さんも同じく竹田スポーツ・レクリエーションクラブで、11 年以上小学生を対象としたジュニアバレーボール教室の指導にあたっています。また、13 年の永きにわたり、竹田スポーツ・レクリエーションクラブ会長を務め、竹田市のスポーツ活動の環境整備にご尽力いただいております。</p> <p>団体の大分県養豚協会は、17 年の永きにわたり、学校給食用に大分県産豚肉を無償提供いただいた功績に対して感謝状の贈呈を具申しております。</p> <p>以上 4 名の皆様方と 1 団体について、竹田市表彰委員会において協議され、表彰の決定がなされた後、11 月 3 日の功労者表彰式式典におきまして、表彰を行う運びとなっております。報告は以上です。</p>
志賀教育長	<p>説明が終わりましたので、質疑を受けます。</p> <p>質疑等はありませんか。</p> <p>ないようでしたら、報告第 5 号、承認してよろしいですか。</p>
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	<p>承認されました。</p> <p>それでは、次に協議事項に移ります。協議事項について、教育総務課長、説明をお願いします。</p>
羽田野教育総務課長	<p>協議事項の一つ目が、幼稚園・小学校の運動会についてです。資料 2 ページをお開きください。前回の第 8 回定例会で割り振りの案を提案しておりました。委員の皆様に出席とご挨拶をお願いしている学校に変更はございません。前回の案に、開会・閉会予定時刻と雨天時の対応の部分を追記しておりますのでご確認をお願いいたします。</p> <p>次に 3 ページをご覧ください。協議事項二つ目の、教育長・教育委員の学校訪問についてでございます。この件につきましても、前回定例会でお示しをしておりましたが、現時点で変更はございません。なお、最下段に、3. 留意点を記載しておりますとおり、午前中最後の学校で給食を摂ることとしておりますが、委員皆様それぞれにご自分の箸を持参くださいますようお願いいたします。また、都合によって参加ができなくなる日がございましたら、3 日前までにご連絡をお願いいたします。協議事項については以上です。</p>
志賀教育長	質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	<p>ではないようですので、次に移ります。連絡事項をお願いします。教育総務課長。</p>
羽田野教育総務課長	<p>連絡事項 (1)、9 月の幼稚園・小・中学校の行事予定表につきまして、資料の 2 ページをご覧ください。9 月 2 日、幼稚園始業式。3 日から 4 日にかけて、竹田南部中 2 年生の職場体験。6 日、直入小 5.6 年生の選挙出前授業。10 日、英語弁論暗唱大会。11 日から 12 日にかけて、竹田中 2 年生の職場体験。14 日、</p>

白丹小秋季大運動会、及び白丹小創立 150 周年記念の神楽公演。19 日、中体連新人球技剣道大会。21 日、城原小の地区合同秋季大運動会、及び小学校秋季大運動会、実施の学校は竹田小・幼稚園合同、南部小・幼稚園合同、菅生小、荻小、久住小、直入小となっています。22 日、豊岡小・祖峰小の秋季大運動会。26 日、南部幼稚園の避難訓練。27 日、久住小 4～6 年生のアウトリーチ公演。続いて、次のページ、3 ページをご覧ください。9 月の教育委員会関係日程（予定）表でございます。本日 5 日、第 1 回総合教育会議、及び教育委員会第 9 回定例会。7 日から 9 日にかけて、第 77 回県民スポーツ大会。10 日から 12 日にかけて、議会定例会の一般質問。12 日、第 2 回竹田市表彰委員会。13 日、里見奨学会図書費贈呈式、及び県民スポーツ大会竹田市選手団解団式。17 日、議会本会議・予算特別委員会。18 日、竹田市青少年育成市民会議第 1 回理事会・総会。19 日、竹田市老人クラブ連合会スポーツ大会。19 日から 20 日にかけて、議会本会議・決算審査特別委員会。25 日、第 7 回校長・所長会議。26 日、議会・社会文教常任委員会、及び声楽コンクール第 2 回実行委員会。27 日、定例課長会議。30 日、議会定例会最終日。10 月 1 日、竹田教育研究会教科部会。3 日、部活動のあり方検討委員会。4 日、第 2 回総合教育会議、及び教育委員会第 10 回定例会。

資料 1 ページに戻っていただきまして、(3) 今後の主な予定です。①第 2 回総合教育会議、②教育委員会第 10 回定例会は、今申し上げましたとおり、10 月 4 日（金）13 時 30 分とその後 15 時から、場所は本庁議室。③教育委員会第 11 回定例会は、11 月 5 日（火）15 時から、場所は同じく本庁議室で行います。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

質疑等はありませんか。

委員

（「はい。」の声）

志賀教育長

連絡事項よろしいでしょうか。それでは、各課からお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

羽田野教育総務課長

ただいま開会中の第 3 回定例会、9 月議会におきまして、教育総務課関係では上島弘二議員から一般質問の通告を受けております。眺望を遮るということで竹田中学校の樹木の伐採についての質問通告がされております。現状をお伝えし、市の厳しい財政事情、限られた予算の中において、緊急度・重要度などを勘案し、優先されるものから順次対応していきたい旨答弁することとしております。また、議会最終日には令和 5 年度教育行政点検評価報告書の提出と合わせて、昨年と同様に学校再編の状況について説明することになっております。それから、8 月 30 日に久住小学校の P T A 役員会の際にお伺いして、白丹小学校の統合についてこれまでの経過をお伝えする予定でしたが、台風のため延期となりました。教育総務課からは以上です。

志賀教育長

渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育長

学校教育課からは 3 点です。

1 点目は、9 月議会において、熊野議員さんと佐藤市蔵議員さんより「休日の部活動の地域クラブ移行」についてのご質問をいただいております。現状、課

題、今後の計画等についてお答えいたします。

2 点目です。第 2 回学校運営協議会及び第 2 回学力向上会議へのご出席ありがとうございました。台風の影響で、延期になったり、書面開催になったりして、ご出席いただけなかった委員の方もいらっしゃるのではないかと思います。今後も各学校の教育活動に対し、ご意見やご提案をいただき、引き続き支援していただきますようお願いいたします。

3 点目です。令和 7 年度小中学校教科用図書の選定結果を 9 月 2 日よりホームページの「教育委員会からのお知らせ」の中で公開しております。先月、委員会で認めていただいた通りの選定結果となっております。選定理由等も公開されておりますので、詳細についてもご確認いただければと思います。学校教育課からは以上です。

志賀教育長

藤島生涯学習課長。

藤島生涯学習課長

生涯学習課からは 3 点です。

1 点目として、9 月議会の一般質問に賀籠六議員から、三公民館の今後の在り方について質問がされています。竹田市公共施設等総合管理計画に則って修繕をしながら維持管理していく方針で回答します。また、市長は公民館の運営や事業の充実について、積極的な姿勢でありますので、そのように回答されるものと思います。

2 点目として第 77 回県民スポーツ大会についてであります。8 月 21 日に開催しました、結団式においては教育委員の皆様にはご参列いただき感謝申し上げます。77 回県民スポーツ大会は、今週末の 7 日、土曜日から 9 日、月曜日を主日程に県北を中心に開催されます。是非、教育委員の方にもお時間が許せば応援をお願いしたいと思います。また、甲高委員においては陸上の監督として、吉野委員においてはテニス競技の選手として参加していただきますので、是非ご検討をお願いします。先行競技として開催されましたライフル射撃競技では山田愛選手が B P 40W で 3 位入賞し総合 11 位となりました。昨年 13 位でありましたので成績を上げていただきました。自転車競技ではロード男子 50 歳以上の部で野仲勝彦選手が優勝しましたし、女子の部では野仲典子選手が 2 位入賞し、総合 8 位という結果でした。昨年 12 位でしたのでかなりの健闘をいただきました。綱引競技では、男子 5 位、一般男女混合が 3 位入賞で総合 4 位となりました。昨年 5 位でしたのでこの競技も成績を上げています。ソフトテニス競技では、予選パートを 2 位通過し、決勝トーナメントに進出しましたが中津市に敗退し総合 5 位となりました。昨年 12 位でしたのでかなりの躍進をしていただきました。ラグビー競技は、A パート準決勝で国東市・東国東郡に 70 対 0 で完勝し、8 日、日曜日に大分市との決勝戦となります。水泳競技は、50m 自由形 60 歳以上に志賀哲哉教育長が出場し 8 位入賞して頂きましたし、女子 50m 自由形 40 歳以上に阿南女久美選手が出場し 5 位入賞しております。竹田市はこれまで最下位の 16 位でしたので、最下位からの脱出を目指して各競技とも健闘していただけるものと信じています。

3 点目として第 78 回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールについてであります。10 月 18 日、金曜日から 20 日、日曜日にかけて今年も第 78 回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールが開催されます。昨年は 28 都道府県から 32 名の参加をいただいております。今年については、9 月 17 日を〆切として、今各県で選考会が開催されています。後日ご案内いたしますが、教育委員の方々

にも是非ご参加いただければ幸いです。以上です。

志賀教育長

真田まちづくり文化財課長補佐。

真田まちづくり文化財課長補佐

まちづくり文化財課から2点報告とご紹介をしたいと思います。
まず、先日の台風10号の関係で文化財関係の被災状況について報告をします。岡城跡において、土砂崩れ3件、石垣の崩落1件が発生しましたが、それほど規模が大きいものではありませんでした。それと登録有形文化財において小規模な被災が報告されています。大分県教委、文化庁と協議して、今後の復旧方針を決定し対応していきます。

続きまして先ほどお配りした資料についてです。現在、松本地区の岩瀬遺跡において、県営圃場整備に伴う発掘調査を実施しています。調査では弥生時代から古墳時代の竪穴式住居跡や中世から近世にかけての掘立柱建物跡などの遺構が確認されています。中でも、16世紀末から17世紀初め（安土桃山時代から江戸時代の始め頃）にかけて使用されていたと推察できる鍛冶関連の遺構が確認されています。この鍛冶遺構は、竹田市内では過去に発見例がなく、県内でも確認例が少ない遺構であり、文献等の資料の乏しい中世末における、この地域の生産関連の状況をうかがい知ることのできる貴重な遺跡であるといえます。資料の次のページに写真を載せていますので、少し説明を致します。上の写真は廃棄土坑と思われるもので、大量の石と赤丸で囲んでいる鉄滓と呼ばれる拳大ほどもある鉄の塊が大量に確認されています。また、黄色で囲んでいるフイゴの先端部にあたる羽口の一部も確認されています。その下の写真は、鍛冶炉の跡で、赤く被熱した焼土が丸く確認され、その下部に溶けた鉄が溜まってできた椀型滓も見ることができます。当時の鍛冶の様子は資料下段に復元図を載せていますが、今回の鍛冶遺構がこれと全く同じ形状であるかは確認できませんが、概ねこのような形状であったと推察されます。現在、調査の途中であり調査が進んでいけば遺跡の全体像、性格を把握することができるものと考えています。興味がございましたら、現地で坂本という若い職員が常駐し調査を行っていますので、ぜひ見学へお越し下さい。まちづくり文化財課からは以上です。

志賀教育長

佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

歴史文化館です。展示について、連絡させていただきます。9月7日（土）からの秋季特別展「彫塑生面 一生誕150年 渡邊長男」展の開催準備をしています。詳細は次回の教育委員会定例会でと考えておりますので、本日は概要を連絡させていただきます。明治から昭和初期の銅像彫塑の権威であった渡邊長男は、明治7年（1874）に、元岡藩士の家系で上井田村（豊後大野市）村長を務めた渡邊要蔵の長男として生まれました。「明治天皇御尊像」や「菅原道真公像」など数多くの人物彫刻を制作しました。東京日本橋の欄干の「獅子・麒麟像」も有名です。竹田市内にも、「子育て観音像」「廣瀬中佐像」「田能村竹田像」等があります。長男に影響され、実弟の朝倉文夫も彫刻を志しました。しかし残念なことに、渡邊長男の作品は戦時中の金属抛出等により失われたものが多くあります。その希少となった渡邊長男の作品のうち渡邊家が大切に守り遺してきた76点が、このたび竹田市へ御寄贈されました。御寄贈いただいた今年は、渡邊長男生誕150年の記念の年でもあることから、回顧展を開催す

	ることとし、御寄贈いただいた渡邊長男のブロンズ作品や関係資料を中心に、彫塑に新しい境地（彫塑生面）を切り開いていった渡邊長男の人生や作品を紹介することにいたしました。よろしくお願いいたします。
志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	はい。学校給食共同調理場から1点報告します。 教育長報告にもありましたが、8月28日にJA おおいたピーマン生産部会（吉野真治部会長）からピーマン27キロの贈呈がありました。竹田中央調理場は、チンジャオロースとして、久住調理場は、ピーマン肉詰めとして給食メニューに提供します。令和3年度から無償提供をいただいております、今年で4回目となりました。以上です。
志賀教育長	図書館について、羽田野教育総務課長。
羽田野教育総務課長	図書館からは、特にございません。
志賀教育長	ではご意見、質問等ありませんか。 それでは、最後に教育委員から、ご意見、感想等があればいただきたいと思います。吉野委員からお願いします。
吉野委員	はい。8月22日の直入の教育を考える会に参加してきました。授業の内容もとてもよくて、それから県の指導主事の方にもお褒めの言葉をいただきました。それから嬉しい報告がありました。中学校の方で中学2年生の英語の力が伸びてきている。弱点克服というのはなかなか難しいものだけでも、先生のご努力、地域のサポーターの協力やALTの先生にも協力していただいて生徒も伸びてきている。頑張っているようだというお話を聞いてうれしく思いました。また、3つの部会に分かれて、学習支援部、地域教育部、安心安全部ということで、どこの部でも活発にお話をされてました。点検評価の最後の評価意見の中に、作業部会という言葉を使うのはあまり良くないんじゃないか、下請けではないんだというお話がありましたけれども、決してそういうことはなくて、活発に意見交換ができていたなというふうに思います。特に中学校の方で、少し話がずれますけどタケタカタロー2、私、遅ればせながらのケーブルテレビを見させていただきました。大変有意義な催しだなというふうに思いました。中学校の方で、生徒に農業体験をさせる授業が組めないかということで考えておられるようで、そこでやっぱり先生方は転勤で外部から来られているので、地域の様子がわからないから受け入れ先を探すのを協力して欲しいというお話だったんですけども、ここでこそ地域の力を何とかかき集めて、話をまとめたいというふうに今、力を尽くしてくれてるところです。ちょっと難しいところもあるかもしれないんですけど今後のために、広く支所とかにも協力を求めて今進めているところです。学校の様子や、それから、学校運営協議会の時の地域の方の協力の具合を見ていると、先ほどの総合教育会議の中で岡委員の発言もありましたが、本当に、学力の方でも頑張って、もっと、もう少しけるんじゃないかな、直入中学校まだちょっと少ないし、統合の案も出てますが、もう少しけるんじゃないかと、もっと連携したりとかもっと関わりたいとか、もっと何か地域に任せて欲しいとかいう勢いをますます肌で感じて、

何か、それから今の小学生の頑張りをを見ると、この児童が直入中学校に入
て、今の教育を受け続けたらもっと頑張れるんじゃないかとかいう期待も感じ
てしまうほどの充実ぶりでした。それをもっと伸ばしたいとかいう気持ちがま
すます芽生えるのは、決してマイナスのことではないので、そこも伸ばしてい
きつつ、でも先ほど岡委員がおっしゃいましたけど、何か、歯車がずれたした
り、小規模のデメリットに負けかけたときでは、もう遅いというのも確かなと
思うので、その見極めが本当に難しいなというふうに感じました。少し話が
ずれますけれども、子どもが小学生だった頃、クラスが荒れていたときに、受
け持ってくれた担任の先生が年度末に、「あなた達はもう私じゃないどの先生
が持ってくれても大丈夫だ」というふうに言って送り出してくれたんですけ
ど、それをやっぱり、今の直入の子たちに、直入ばかりですみません。どこ
の子でも、どの環境に行っても大丈夫だというふうな教育を日々積み重ねてい
かないといけないんだなというふうに感じたところです。
あと、10月の広報たけたに載せるとおっしゃったアンケートについてどのよう
なものか教えていただければと1つ質問です。以上です。

志賀教育長

岡委員、お願いします。

岡委員

はい。私の方も先月、都野、白丹、久住の各小学校の運営協議会の学力向上会
議に出席してきました。どの学校も家庭それから地域と一体となって、充実し
た活動を展開してるという様子がかがえてよかったと思います。その中で特
に印象深かった取り組みについて少しお話ししたいと思うんですが、それは都野
小学校です。都野小学校で今年度、試みとして、S P分析というものを導入さ
れて、そのためのデータ収集を1学期に行いました。そして、作業療法士の方
等の専門家のスクリーニングを実施されたという報告がありました。最初は、
専門用語がよく理解できなかったんですけども、先生方のわかりやすい説明も
あって、私も含めて参加者の地域の方々も大きくうなずいておられました。校
長先生からは教育委員会の支援を大変感謝してるというお言葉もありましたけ
れども、興味深かったのはS P分析の結果と、専門家の方による検査の結果に
相関関係があるという話です。そして、今後は解決の糸口として、認知機能を
高める方策として、コグトレを専門家の方の監修のもと行っていくんだって
いう一貫した理論で説明をしてくれました。その時の印象的なやり取りとして、
地域の方から「予算や人的配置を配慮していただいたことを非常に感謝してい
る。ただ、こういった取り組みが単発で終わらないようにぜひ継続して欲し
い」という意見とか、「今後に大変期待したいと思うので、先生が変わったら
もう誰もフォローできないというようなことにならないように希望する」とい
った意見が出されている。やはり継続性と質の担保というところも求められて
いるんだなあと思います。それに対して、槇川指導主事から、「先生同士の研
修を通じて学びあって共有化を図っています。研修で学んだ先生が、実際の現
場でそれを活かしたり、異動した先で実践しているといった知識や文化の共有
と伝承を行うことで支援を継続できています」という説明がありました。非常
に有意義な意見交換の場になりました。今回、都野小学校の様々な科学的アプ
ローチが大変勉強になりました。先生同士の授業研究とか、専門家を交えての
研修会の重要性は非常によく理解できました。今後はそのノウハウを要は、
「あの時は勉強になった、よかった。」と終わらせるのではなくて、市全体の
教育財産としてどう蓄積していき伝承していくか。例えば、先生同士が意見交

換できる専門のサイトやホームページを設けたり、アップデートしたりとか、要は形は様々なんだけど、環境整備をしていくというのが、教育委員会の役割になるのかなと思いました。以上です。

志賀教育長

甲高委員、お願いします。

甲高委員

はい。私からは8月21日行われました竹田中学校の運営協議会そして、学力向上会議に参加いたしましたので感想を述べさせていただきたいと思います。まず、全国学力調査に基づいて、竹田中学校はしっかり、それをなぜできなかった、なぜ解けなかったのかを含めて、しっかり調査されて今後の学習に役立てるように指導をされるということで、本当にしっかり学力調査を受けて学習指導方針を決めているんだなあと思いました。ただ、もったいないなあとちょっと思っ質問をさせていただいたんですが、無回答率についてはということで、15問中7問で、県、全国で高いということで、私達の頃は、例えば、「何でもいいから頑張って書け。とにかく解いて解答しろ。当たるかもしれん。」とか言ってたんですが、実際、後で解かしているんじゃないかと思うんですが、解かしたら解けている問題もあったということで、非常にもったいないなあという思いがあります。時間配分とかそういうのも、これから身に着けていかないといけないのかな、指導していく必要があるのかなあと思いながらちょっと質問をさせていただきました。また、ハイパーキューキュー、学級満足度だったり、それぞれ学習意欲、友人との関係だったり、それに学習意欲がどのように比例するのかそういうのも含めて、すごく調査をされてて、進路意識だったり、それに対する学習意欲だったり、それを調査されていて、非常に参考になってすごく生徒のこと考えて、今回、学力向上会議頑張っているなあ私の素直な感想でした。

志賀教育長

進委員、お願いします。

進委員

はい。私も皆さんと同じで、荻小学校、緑ヶ丘中学校の運営協議会、学力向上会議に参加してきました。まず、1つは中学校の校長先生が、長期休み明けというのは、とにかく休む生徒が出てくるんだけど、緑中は全員出席できたということで、とても良いことだなと思いました。いろんなアンケートの中で、私が気になったのが、小学校のアンケートなんですけど、「場や相手に応じて丁寧な言葉で話せた」という目標があって、それに対する子ども達の回答が、低学年はできたと答えているんだけど、学年が上がるにつれて、とても素直な子ども達で、できなかったと答えている子ども達が多いということでした。実際子どもたちが自分を振り返ってそうなんだろうけども、先生目から見てどうですかということでお尋ねしたら、先生と子どもの距離が近いがゆえに、やっぱり相手に応じたとか、場合に応じた言葉遣いが出来づらい、近いから言葉も丁寧語とかじゃなくてというところがあるということでお話を伺いました。これについては、職員室の入り方だとか、いろいろ眺めて場に応じた言葉遣いや、相手に応じた言葉遣いを、みんなで考えていきたいというお話でした。先ほどの会議にもあったように、やはり思いやりの心というのは、言葉にも表れると思うので、竹田っ子は、きちんとした言葉遣いができる子ども達になって欲しいなというのを感じた会議でした。皆さんがおっしゃられたように小学校中学校ともにとても頑張られていて、県のテストの結果とかも去年よりも上が

	<p>っているとかいうことを聞いて、とてもうれしく思いました。これからも応援していきたいと思います。以上です。</p>
志賀教育長	<p>それでは、10月の広報について、1つ質問がありました。教育総務課長。</p>
羽田野教育総務課長	<p>アンケートについては、総合教育会議で言ったことになります。11月1日が教育の日ということで広報に特集を組むんですけど、今年は10月、11月の2ヶ月に渡って教育特集を行います。統合の方針について、それから、子どもの教育環境の充実ということで、学校教育課で先ほどありましたシステムの導入、英語弁論大会について触れるのが10月の内容になっています。その中で児童・生徒数推移表も、今、生まれてくる子どもたちの出生数を含めて、6年後小学校はこうなる。中学校について12年後こうなると、わかるような数字を出した表を付けます。アンケートについては来年度が長期教育総合計画の最終年であります。来年度中に次の改訂を行わなければならないということがありますので、来年度の当初に一斉のアンケートを行いたいと考えています。2次元コードを使って、簡単に集計ができたりする方法がありますので、それを活用して、できれば全員の保護者を対象として行えればいいなと考えています。早くても来年の4月になるんですが、時期については触れていませんが、卒業する方ではなく、新年度の体制になってからアンケートを行おうと考えています。以上です。</p>
志賀教育長	<p>その他、何か発言はありますか。 岡委員から出されました、全教員がアプローチできるような市全体の教育財産というお話でした。共有フォルダなどについて説明してください。</p>
渡邊学校教育課長	<p>チャットみたいに関心のある方が言い合えるようなサイトというのはないんですけど、それぞれの学校で、それぞれの先生方がこれよかったというような教材であるとか、授業で使った資料とか、研修で使った資料とかを共有フォルダの中に、教科別とか分野別に入れるフォルダがあってその中に、それぞれの学校もしくは教科部会の中に入れて、必要なときに取り出して使ったりするようなフォルダは存在します。</p>
志賀教育長	<p>吉野委員。</p>
吉野委員	<p>それは、県のもの、市のものですか。</p>
渡邊学校教育課長	<p>市のものです。</p>
志賀教育長	<p>竹田市の教員が、それぞれ自分が作った資料であるとか、教材とかを入れる。教員が見ることができるフォルダがあって、欲しい資料や実践例を見ることができます。自分もやめるとき、全部放り込んできましたが、すべて消されているんじゃないかなと思っています。 他にはないでしょうか。学校教育課長。</p>
渡邊学校教育課長	<p>岡委員がおっしゃった都野小学校の取り組みの件ですが、専門家によるスクリーニングとか、専門家を交えての研修とか、今やってる「架け橋プログラム」</p>

のいいところや、これうちの学校で使えるっていうことをそれぞれの学校や園で今、活用し始めているという状況です。「架け橋」の取組は、国の事業ではありましたが、とてもいいチャンスをいただいたなというふうに思っています。それから、直入中学校の子どもたちの頑張りだとか、地域の方の力というところで、未来創造プロジェクト、キャリア教育に関わる研究を、今年度、2年目をしてくださっています。学びに向かう意欲を喚起するために、学ぶ意義を中心に子ども達に考えてほしいというような研究が中心です。竹田中学校では、学ぶ意欲あるけれども、進路に対する意識が低いという結果が出ています。学びに向かう意欲と進路に対する意識、学力は関係していて、なんで勉強せんといけんのかな、何のためにするのかなというところを竹田市教育委員会としては課題として、各学校とともに学ぶ意欲の喚起に向けて、取り組んで参りたいと思っています。以上です。

志賀教育長

その他、ないでしょうか。給食調理場長。

甲斐給食調理場長

調理場からです。10月の広報たけたでお知らせしますが、旧直入調理場の皿等の食器や食缶などをせり売りにより売却処分します。令和4年3月末で用途廃止となって、現在、整理をしています。市役所内の各部署や教育委員会で活用できるものは、各学校等に照会し、8月までに譲渡し、準備をしてきました。建物等については、補助金適化法が本年度末まで適用されているので、次年度以降に一括で売却処分できるように財産管理の部署と検討しています。以上です。

志賀教育長

他にありませんか。

甲高委員から、学力調査で無回答率が高いというご指摘がありました。かつて竹田市の中学校の成績が非常によかったときは、無回答率が非常に低かった。そのことについて研究しないといけないと思っています。それから進委員から、出されました子どもの言葉遣い。自分自身、子どもとは近くないと思いますが、「この人見たことある」と言われたこともあります。気を付けたいと思います。

それでは、以上をもちまして、第9回定例会を閉会します。

<閉会>

[閉会時刻:午後3時25分]